

拒絕理由通知書

Office Action (dispatched on October 24, 2003)

Japanese Patent Application No. 2000-236333

特許出願の番号 特願 2000-236333

起案日 平成15年10月21日

特許庁審査官 青木 千歌子 9351 4X00

特許出願人代理人 奥山 尚一（外 3 名） 様

適用条文 第36条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

この出願は、発明の詳細な説明の記載が下記の点で、特許法第36条第4項に規定する要件を満たしていない。

記

1. 発明の詳細な説明によると、La及びMgまたはCaの含有量を規定することの技術的な意義は、高率放電特性等の電池特性の改善にあるものと認められ、ニッケル水素二次電池の電極以外の用途に用いる場合の技術的な意義が不明である。

2. 請求項 5 及び 7 乃至 10 に係る発明は、La 含有量が規定されていないから、必ずしも高容量の水素吸蔵合金を提供するという本願発明の課題を解決し得るものではない。

よって、発明の詳細な説明を請求項 1 乃至 10 に係る発明を当業者が実施できる程度に明確且十分に記載しているとは認めることができない。

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 I P C 第 7 版 H O 1 M 4 / 0 0 - 4 / 6 2

C 2 2 C 1 9 / 0 0

・先行技術文献 特公平7-56803号公報

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。